

目次

□巻頭言 建設の効率化……………能川昭二/1  
 大阪モノレールの計画概要……………山田育男/3  
 川崎駅東口広場地下街建設工事の概要……………岡村昭三郎/8

グラビヤ—中央自動車道勝沼 IC~甲府昭和 IC 間工事

中央自動車道西宮線(勝沼 IC~甲府昭和 IC 間の工事概要……………佐藤忠/17  
 首都高速(横羽2期線)花園橋換気所工事の概要……………鈴木文雄/22  
 ケニア共和国における建設機械に関する技術協力……………木下友敬/30  
 沿岸漁場整備開発事業における水陸両用ブルドーザによる漁場の施工……………尾崎忠雄/35  
 三村充

□随想ごせんぞ……………玉置脩/40  
 横移動方式による連続地下壁掘削機……………吉田弘/42  
 ニューマチックケーソン工法におけるバケット式自動ずり出し装置……………菊池建二/47  
 中川毅  
 搭乗式小型ロータリ除雪車の開発……………黒高正輝/51  
 木橋幸  
 自走式路面たわみ測定車の性能試験報告……………米村信幸/54  
 中島甲子郎  
 境友昭  
 路面の凹凸を考慮した重ダンプトラックの試験……………石崎孝/59  
 近藤聰毅  
 建設工事の省力化に関するアンケート結果……………小越富夫/64  
 □新機種ニュース……………調査部会/68

□文献調査  
 覆工コンクリートの配合/建設機械の管理手法……………文献調査委員会/72  
 □整備技術  
 ガasketやシールの代りに使用される粘着剤……………整備技術部会/74  
 □建設機械化研究所抄報 <<133>>  
 379. 酒井重工超音波安全監視装置(ソニックレーダ)……………/76  
 ROPS 静載荷試験(R-52~R-55)……………/76  
 □統計  
 建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移……………調査部会/79

行事一覧……………/80  
 編集後記……………(天野・田辺)/82

◀表紙写真説明▶

日立 KH 700-2 タワークレーン  
 日立建機株式会社

本機は、最近の集合住宅、プラント、発電所などの建設工事でのユニットの大型化、高揚程化、作業範囲の拡大等に対応できるよう 150 t ぶりの本体に、安全性、信頼性の高いタワー専用ブームを装着した大型の建築用タワークレーンである。巻上げ、走行等の動力伝達方式はすべて油圧式で重量物の据付時のインテグレーション、現場での移動性にすぐれている。また一般荷役作業にはこの専用タワーブームを利用して通常の 150 t ぶりのクレーンとしても使用できる。

◀主な仕様▶

最大クレーン能力……………	20 t×15 m
最大作業半径……………	45 m
タワー+ジブ最長……………	53 m+46 m
最大地上揚程……………	95 m
エンジン出力……………	250 PS/2,000 rpm
全装備重量(タワー+ジブ最長時)……………	162 t